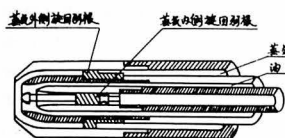
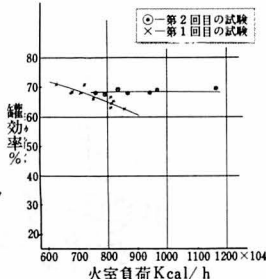


4. 蒸気式オイルバーナー



その実用化について研究が進められている。機関車構造を図-2、火室負荷と缶効率との関係を図-5に示す。(野村正義)

5. 火室負荷と缶効率との関係



じゅうりょうばん トンせいど

重量減トン制度 商取引の取引単位の細分化傾向に伴ない、小形貨車の需給がひっ迫してきたので、その緩和措置として採られた臨時的な制度の1つで、昭和28・1国鉄公示第9号で「15トン積貨車に積載する車扱貨物の減トンの取扱方」で定められ、ついで昭和32・3国鉄公示第105号で「15トン積貨車を10トン積貨車に代用する場合の特殊取扱方」で改正された。

この取扱の特長は、国鉄においてとくに指定した貨物を、15t積貨車(有がい車および無がい車)に積載した場合には、一般の場合と異なり、運賃計算トン数はその貨物の実重量によると定めてあることである。もっともこの場合の運賃計算最低トン数は10tである。ここにいう国鉄においてとくに指定した貨物とは、貨物運賃等級表の品目番号の前に※印のついた貨物である。(重森直樹)

じゅうりょうひん 重量品 一般に容積の割合に重量の重いつぎの貨物をいう。

- 1 貨車に満トン積できるもの。
- 2 昭17・7達第423号車両換算法により重量換算するもの。なお貨物運送規則第27条補則2に規定されている、1個の重量が1t以上で転動しやすい貨物(輪軸・鉄管・鉄棒の如きもの)または密閉こん包貨物(機械類等で荷造が密閉のため重心位置測定が困難なもの)を重量品ともいう。(片山伊与吉)

じゅうれん 重連 勾配(こうばい)区間での列車の牽引(けんいん)や機関車の回送等で、機関士の乗務する機関車を2両以上連結して運転することを重連または重連運転という。重連運転する列車の制動扱いは最前位の機関車で行う。この場合最前部以外の機関車は重連用コックを閉じ、自動制動弁および単独制動弁のハンドルを運転位置におくのが定位になっている。

なお機関車の重連は必要に応じて何両でも連結することができるが、線路の負担力の関係で3両以下と定められている。

また電車では故障のとき回送のために、故障車両を他の電車に連結して回送する場合これを重連するという。

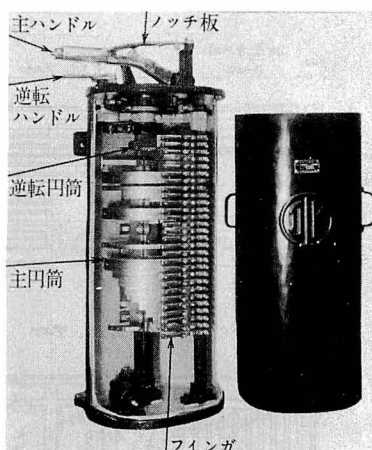
総括制御のできない気動車を2両連結して、各車の運転室に乗務員が乗って運転する場合も重連と称する。(塚越義寿)

しゅかんせいぎょき 主幹制御器 (英) master controller

電気車の主電動機を遠隔制御するため運転室に設けた一種の円筒形制御器でマスコンと略称する場合がある。一般にこの制御器は写真のように逆転円筒および主円筒を有している。逆転円筒は逆転器を制御して主電動機の回転方向を決定する。主円筒は断流器・主抵抗スイッチ・組合せスイッチ・界磁スイッチ等を制御して主電動機の手動制御を行う。逆転円筒は逆転ハンドルによって前進・後進位置に切換える。主円筒は主ハンドルによって任意のノッチに進めることができる。主円筒と逆転円筒との間に機械的連動装置が設けてあって、誤動作を生じないようにになっている。

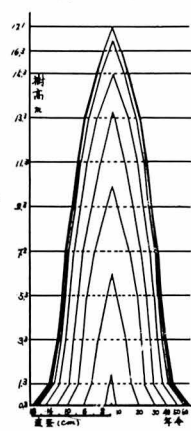
ノッチ進めが非自動の場合には主円筒はノッチに等しい刻み

を必要とするが、自動制御の場合はその刻みは非常に少なくてすみ、主幹制御器が小形となる利点がある。回路電圧が600V以上の高圧の場合には吹消しコイル・アーク流しを必要とする。また電車には一般にデッドマン装置を取付けることが多い。電気ブレーキを使用する場合の主幹制御器・内燃車の主幹制御器ではこの他に特別のハンドルを取付けることがある。→デッドマン装置。(沢野周一)



(主幹制御器おおいを取りはずした状態)

樹幹折解図



じゅかんせっかい 樹幹折解 (英) stem analysis, tree analysis. 樹幹折解ともいい、伐採木について生育当初からの生長量を精密に測定する方法。

すなわち与えられた樹幹について一定間隔の断面の年輪を調べて樹幹折解図を描き、直径・断面積・樹高・材積・樹幹胸高形数等各種の生長量を査定する方法である。この方法を基礎として森林の成長量を査定し、また生長の経過を知る場合にも用いられる。(高村義次)

しゅくしゃ 宿舎 (英) lodging 国鉄の業務を円滑に遂行する

1. ブロック造テレスハウス 48m²/戸 標準階平面

